

「100 万人十色」プロジェクト
“One Million Discoveries in Japan”
が始動します

2016 年 4 月 1 日

一般社団法人ゲートウェイ・アップ・ジャパン

一般社団法人 GAJa では、外国人目線で見つけた日本の魅力を 100 万人の訪日観光客に発信、拡散してもらうための「100 万人十色」-One Million Discoveries in Japan-のプロジェクトを立ち上げます。

スマートフォンは海外でも広く普及しており、普段利用しているスマートフォンを日本に持ち込んで旅の間も利用する訪日観光客が大勢います。そこで、20 万以上の Wi-Fi アクセスポイントを文字通り全国規模で訪日観光客の方々に無料開放して、①国籍や利用言語、性別、年齢等の情報と測位情報を各地での「もてなし」に利用するプラットフォームを形成し、②SNS で普通に発信する写真&メッセージをいただいて各地からの多言語での情報発信に活かす取り組みを始めます。

具体的には、以下の内容を柱とします（詳細は別紙）。本年 7 月から 1 年間の予定で実施します。

1. 20 万以上の Wi-Fi アクセスポイントを訪日観光客にシームレスに無料開放

全国各地で訪日観光客が Wi-Fi サービスを使ってインターネットにアクセスできるよう、20 万~30 万の Wi-Fi アクセスポイントの利用を無料開放します。アクセスポイントの数を増やすのに地方自治体等のエリアオーナーとの協力を進めてシームレスに利用できるネットワークを拡大するとともに、既設のアクセスポイントを活用するためのビジネスモデルの構築を図ります。

2. 100万人からの1000万枚の写真&多言語メッセージを使って地域発信

フリーWi-Fi提供アプリを100万人の訪日観光客に利用してもらい、平均10枚の日本各地の写真を自国語のメッセージとともに収集します。1000万の外国人目線の魅力を他の訪日観光客にスマートフォンを使って提供し、Webサイトでも世界に発信します。

3. インターネットにつながる環境とビジネスプラットフォームを用意して各地を応援

国籍や利用言語、性別、年齢等の情報と測位情報が利用できれば各地での「もてなし」を充実できるので、訪日観光客を迎えたい全国各地の事業者等がデータを利用できるビジネスプラットフォームを形成します。そのために、データ利用のルール整備を図ります。

4. 訪日観光客のナビゲーションやプッシュ配信により地域のマーケティングを支援

100万人の訪日観光客にナビゲーションを提供して全国各地での回遊を促し、地域の観光スポットや物産等を紹介できる情報配信プラットフォームを使って誘客のPRを行えるようにします。

5. アプリ・データの生産と流通を促進しベンチャーやデータアナリスト等を育成

訪日観光客の登録情報や測位情報、写真&多言語メッセージ等は、アプリ開発者にとって魅力的なデータ、コンテンツであるので、それを利用したアプリ等が広く全国各地の「もてなし」に利用されるよう生産と流通を促進し、アプリ等の導入費用の抑制と利用の裾野拡大を図ります。測位情報は、ビッグデータとしても活用できるので、データアナリストやサイエンティストの育成も応援します。

6. 大使館・領事館等への参加の呼びかけ

非常時に訪日観光客の安全を確保したい各国の大使館・領事館等に対し、その安否確認を支援するサービスを利用開放します。

1. 本プロジェクトは、非常時の多言語情報提供を平時と「地続き」にします。

1) 言葉の通じない外国を旅するときに、旅行者が何を必要としているのかを相手に伝えることは、自身の安全や利便のために大切です。その旅行者の属性情報や測位情報を利用するプラットフォームの形成は、旅をする側にも、迎える側にも、利益があります。

2) GAJa は、「OMOTENASHI APP」^{*1}を開発しています。このアプリは、非常時における多言語情報提供を目的とするものですが、非常時の利用は平時の「地続き」なので、旅の道中に役立つアプリとして平時からダウンロードし利用してもらい、非常時の利用率をあげようとしています。そのため、平時利用を促す観光向けコンテンツなどで全国各地を応援しています。

^{*1} <https://www.ga-ja.com/app.html>

3) 「OMOTENASHI APP」は、Wi-Fi をシームレスに利用できるようにするための総務省の取組方針（本年 2 月発表）が定める Web-API 方式に準拠していて、そのシームレスな Wi-Fi 接続の輪に加わります。

2. フリーWi-Fiの利用を全国規模にするために、既設アクセスポイントの活用を進めます。

1) 本年 7 月から、災害情報を多言語で提供するアプリとその情報入力システムを地方自治体と大使館・領事館等に利用開放します。これに合わせて、訪日観光客にアプリをダウンロードしてもらうためのインセンティブとして、20 万以上のアクセスポイントの利用が全国各地で無料になるよう、取り組みます。

2) 2018年までにシームレスに利用できるWi-Fiアクセスポイントの数を全国で20万以上にするという総務省の目標を踏まえて、本プロジェクトは、訪日観光客がシームレスに利用できるフリーWi-Fiアクセスポイントを本年7月のデータ収集開始時点で20万以上を用意し、将来にわたってこの数が維持できるビジネスモデルの形成に取り組みます。

3) 上述の総務省の取組方針によって、シームレスな接続によって訪日環境客の誘致を進めたい地方自治体等のエリアオーナーとの連携が容易になっているので、各地の情報発信等の様々な企画に取り組む中で、一年間の期間中に20万が30万になるように取り組みます。

3. Wi-Fi サービス事業者の参加を広く募り、地域への誘客等に協力して取り組みます。

1) 訪日観光客がWi-Fiアクセスポイントを全国各地で利用できるように、GAJa会員のWi-Fiサービス事業者にプロジェクトへの参加を呼びかけます。

2) 参加するWi-Fiサービス事業者は、自身が提供しているアプリとしてユーザの許諾を得れば、独自にデータを収集、利用できます。自身でアプリを提供していない場合にも、フリーWi-Fiを利用開放するエリアに訪日観光客を導くなどして地域経済に貢献できるよう、おもてなしや情報発信に協力して取り組みます。

4. データの収集・利用を各地への導線に利用し、地域経済を活性化します。

1) 訪日観光客の測位情報は、ビッグデータとして蓄積されます。その分析によって観光客のもてなしを改善できます。また、国籍、性別、年齢等の属性やニーズを

踏まえて各地への導線を作り、滞在や購買を刺激し、地域経済の活性化につなげます。

- 2) もっとも、発展途上の観光地等を訪れる訪日観光客の数はまだ少ないので、東京や京都のように分析できません。一年を通じて分析が可能なデータを全国各地で収集して活用できるようにするところに、大きな意義があります。収集データを様々な形で活かせるようルール整備を図りながら、データの活用領域を広げていきます。
- 3) 「OMOTENASHI APP」をダウンロードするユーザ本人に、国籍や利用言語、性別、年齢等の登録をお願いするのは、フリーWi-Fi利用のための手続きの中で行います。その際に、登録してもらった情報の利用や、測位データの収集と利用について、本人の承諾を得るようにします。
- 4) 氏名、住所、パスポート番号等のセンシティブな情報は、登録対象としません。他方、メールアドレスの登録は求めます。ただし、Wi-Fiサービスを犯罪利用させないためのトレーサビリティの確保がその趣旨なので、メールアドレスへの情報配信等には利用しません。

5. Intro と Wonder という二つの地域の国際情報発信プログラムを始めます。

- 1) 「OMOTENASHI APP」ユーザーにフリーWi-Fi を提供する際に、自身で撮った旅の写真と自国語メッセージをそのアプリから投稿してもらうよう、協力を呼びかけます。
- 2) アプリユーザーが SNS 的に投稿してくれる写真と自国語メッセージの利用については、あらかじめ許諾を得ておきます。一ユーザ当たり平均 10 枚だと 1000 万枚の日本の全国各地の旅の記録のデータベースが次第に形成されてくるので、マッシュアップしたものを様々に活用していきます。訪日観光客を誘客する法が分からない、外国人向けのコンテンツがない、あっても翻訳できない……といった各地の悩みに応えられるよう、外国人がその目線で発見し気づく魅力や面白さをコンテンツにして外国人に訴求していくプラットフォームを作り、各地で役立てます。
- 3) 各地が発信したい情報も、外国人目線で発信してもらえるように工夫します。例えば、日本に暮らす留学生にレポーターとして取材してもらい、日本の歴史や文化についての知識がある日本人向けの解説を翻訳したのでは現れない彼らの目線で、彼らにとっての魅力を、彼らと同じ外国人に向けて発信、拡散していくことを企画します。

	Intro	Wonder
内容	外国人目線での、日本の美しいもの、おもしろいもの	訪日観光客に来てもらいたい、見てもらいたい、食べてもらいたい、買ってもらいたいもの
写真の投稿者	<ul style="list-style-type: none"> ・「OMOTENASHI APP」ユーザー ・外国人留学生等 *初期は「呼び水」として 	<ul style="list-style-type: none"> ・「OMOTENASHI APP」ユーザーに参加を呼びかける企画 ・外国人留学生等をレポーターとして派遣
言語	<ul style="list-style-type: none"> ・送り手の自国語 	<ul style="list-style-type: none"> ・送り手の自国語 *翻訳も可（費用負担）
スポンサー	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体や地域団体が発信したい情報があるときには、留学生等に取材、投稿を依頼することも可。*取材費用等はスポンサー負担 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や物産等を PR したい地域の企業等による、いわば特集企画。 ・Intro として活用できるものは転用。
編集・編成	<ul style="list-style-type: none"> ・公開が不適切なコンテンツだけは非掲載。多言語対応力が必要なので、大学のサークル等に依頼して組織的に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wonder では、何を発信するか（何を発信しないか）の編集権と責任はスポンサー側にあり ・Intro と同じく不適切コンテンツはチェック

6. 本年7月から1年で100万人のアプリ利用を目指します。

1) データの収集期間は、2016年7月～2017年6月の1年間を予定しています。

2) この期間の「OMOTENASHI APP」のダウンロード数の目標を100万とし、同数のデータ収集を目指します。昨年の来日外国人の数は2000万人だったので、その20人に一人の利用割合です。